**過日、山下理事長。新井場副理事長がネパールの地震災害見舞に行ってきました。**

**JNFEAの現地マネージャーのクリシュナさんが次のようなお手紙をくださいました。**

**皆さん、どうかご協力ください。**

山下さん
先日私の出身の村のSatyawati学校まで来ていただいてありがとうございました。
暑い中本当にご苦労様でした。又貴重の支援金もいただけて地震で弱まっていた私たちは心強くなりました。
あのとき作業していたテンポラリ教室は今は生徒が入って勉強中です。
そこで私が以前は理事長やっていた学校３４個の情報どんどん入っているところです。
二つのVDC　Kumpur　と　Kalleriの３４個全部の校舎が立て直さないと利用できません。
今すぐにトタンを援助しないといけない学校もいくつかあります。そこで長い将来のために安全な学校を作るためにも大金が必要です。私は関係していた学校だし今でも相談役長として関係していますのでもし協力をしていただければ私が中心になって無駄使いのないように使わせます。現地の人にも動かせます。そこでインフラ的には安全を守るような
教室にします。Patleの学校も支援が必要となっているので一部はそちらへ回して残りの金額は私のエリアーに利用できればDhadingの未来が明るくなると思います。JNFEAの皆さんにも私のほうからこのようなことでお願い申し上げたいと思います。ネパールの教育のこといつも世話をしていただいて感謝しています。Dhading教育関係の人たちは皆私を頼っています。
３４個の学校の生徒数は3,600人ほどで先生の数は２００人。又詳しい情報必要なときはいつでも送ります。

今私は考えているのはHIKIVAや他のところからもできれば基金を集めて５年間の小学校のインフラ作りプランを考える。その後は中身教育の質を考えることです。みなさんの力を頂けたらDhadingで良い教育環境作れること信じています。DhadingはKTMから近くても教育の環境は昔から遅れていた場所です。
何とかこの機械がいいきっかけにしたいです。
クリシュナ